

東京大学 海外留学・国際交流プログラム報告書(超短期プログラム用)

記入日: 8/23/2018

- 参加プログラム: AEARU STEM Summer Camp 2018
- プログラム情報: <https://www.u-tokyo.ac.jp/adm/go-global/ja/program-list-short-AUA-AEARU-summer.html>
- 派遣先大学: 北京大学
- プログラム期間: 7/31/2018 ~ 8/10/2018
- 東京大学での所属学部・研究科等: 教養学部(前期課程)
- 学年(プログラム開始時): 学部 2

■参加にあたってこの時期を選んだ理由:

3年生になったら全学交換留学に参加しようと考えていたため、その練習をする意味では、この時期に一度留学を経験しておいた方が良かったため。

■参加を決めるまでの経緯:

大学院に進学することを検討していたため、早い内に高いレベルの授業を体験しておきたかった。参加を決めたのは1年生のAセメスターです。留学でどのくらいの費用がするのかあまり想像がつかず少々参加をためらいました。

プログラムについて

■概要:

Computational Game Theory という授業をとった。授業中に与えられたプログラミングの課題を解いて、次の授業までに提出するというスタイルの授業だった。

■学習・研究以外の活動で取り組んだもの:

取り組んでいない。

■学習・研究以外の活動で取り組んだものの内容、または取り組まなかった理由:

取り組む理由がなかったため。

■週末の過ごし方:

クラスの final project をどのように行うかについて考えていた。

派遣先大学の環境について

■設備:

食堂のご飯はあまり美味しくなかった。wifi は繋げても、中国の法律上、閲覧できるページにはだいぶ制限があった。

■サポート体制:

WeChat で質問を言うと、student helper という役職にある現地の学生が対処法を教えてくれた。

プログラム期間中の生活について

■宿泊先の種類:

学生寮

■ 宿泊先の様子、どのように見つけたか：
トイレにトイレトーパーを流すとトイレが詰まってしまっていて故障することがあるという一点を除けば、快適な個室だった。宿泊先は大学から送られてきた宿泊先の名前を参考にして、自分で地図を開いて主催大学に到着した際に自力で見つけた。
■ 気候、大学周辺の様子、交通機関、食事等：
気候については予想通り空気が汚かった。あと、とても暑かった。大学周辺には売店やレストランがいっぱいあったので、食べ物にはあまり困らなかった。これといった交通機関はなく、寮から遠い教室に歩いて通うのはとても疲れた。食事に関しては、食堂のご飯はあまり美味しくなかったが、レストランの方は美味しかった。
■ お金の管理方法、現地の通貨事情：
現地の人々は売買を WeChat Pay など現金を使わない方法で行うことが多く、私が現金で売買を行う際には cashier が大体困った顔をしていたように思う。
■ 治安、医療関係事情、心身の健康管理で気をつけたこと等、危機管理：
特になし
■ 自由時間に利用した交通手段：
利用していない。
■ プログラム期間中に利用したネット環境：
キャンパス Wifi、VPN

参加前の準備・手続きについて

■ プログラムへの参加手続き：
渡航情報届を提出した。航空券を手配し、サマースクール期間中に留学生がどのような生活をするようになるのかについてあらかじめ WeChat を通じて主催者に問い合わせた。
■ ビザの手続き：
中国大使館でビザを申請した。申請をしてから実際にビザが発行されるまでは 1 週間ぐらい時間が空くので、なるべく早めにビザを申請することをお勧めしたい。
■ 医療関係の準備：
ほとんどこれといった準備をしなかった。
■ 保険関係の準備：
東京大学に指定された保険に加入した。
■ 東京大学の所属学部・研究科(教育部)で行った手続き：
留学をする上で必要となる書類にサインをもらった。この作業にあまり時間はかからないはずなので、あまり神経質にならなくて良いように思う。
■ 語学関係の準備：
TOEFL ibt 102、GRE Verbal 153

費用・奨学金に関すること

■ 参加するために要した費用：

航空費	140,000 円
派遣先への支払い(授業料・施設利用料など)	0 円
教科書代・書籍代	0 円
海外留学保険料(東京大学指定のもの)	10,000 円
保険・社会保障料(留学先で必要だったもの)	0 円
■その他、補足等:	
■留学先で費やした生活費:	
家賃	30,000 円
食費	60,000 円
交通費	1,400 円
娯楽費	0 円
■その他、補足等:	
■プログラム参加のための奨学金の受給有無:	
受給しなかった。	
■奨学金の支給機関・団体名等:	
■受給金額(月額):	
円	
■受給金額についての補足等:	
■奨学金をどのように見つけたか:	

プログラムを振り返って

■プログラムに参加したことの意義、その他所感:
課外活動の一環として参加したので、とにもかくにもきちんと修了できて良かった。
■今後のキャリアに対する考え方や就職活動に与えた影響:
人生のどこかの時点でアメリカの大学に在籍してもっと勉強しようと思うようになった。
■進路・就職先(就職希望先):
研究職、民間企業、起業
■今後参加を考えている学生へのメッセージ、アドバイス:
長期の留学のための練習台として丁度良いと思うので積極的に参加すると良いと思う。
■準備段階やプログラム参加中に役に立ったウェブサイト、出版物:
特になし。